一般質問 一問一答

竹野 光雄 議員

介護人材の確保対策について

問　市の介護施設は、特別養護老人ホーム5ヶ所、老人保健施設3ヶ所、介護医療型施設1ヶ所、認知症高齢者グループホーム6ヶ所の15施設が稼働しております。ベッド数799床対応に対して、現在688床の稼働であります。介護人材不足により、空となっているが今後の取り組みについて伺う。

答　ベッド数やユニット数など規模縮小して運営を行う状況であり、資格取得が可能となる介護職員初任者研修や介護福祉士の資格取得要件を満たすための実務者研修等を行い、人材の誘致と確保に取り組んでいる。

問　人材不足の緩和のため、介護施設で清掃や配膳、ベッドメイキング等補っていただく介護助手型の形を取り入れるべきだが、見解を伺う。

答　介護事業所の意見を聞き、先進的事例を参考にし、実情に応じた介護体制の確保について検討していきたい。

全稼働が待たれる小高特老ホーム「梅の香」

有害鳥獣対策について

問　旧避難指示区域については、イノシシはもとより猿の行動範囲が広がっており、畦畔の荒廃や食害が進み、営農再開地域も、ままならない状況であるが、対策についてどのように進めるのか伺う。

答　有害鳥獣捕獲隊の編成や電気柵設置に係る支援等を継続するとともに、市が直接雇用する捕獲選任員を増員するなど、対策の強化を図っていくものである。

その他の質問

❶婚活支援事業について

❷部活動支援員の確保策について

❸認知症施設について

質問を終えて

人口は、減少しても高齢者が安全・安心で暮らせる地域づくりを!!

高橋　真 議員

市の子育て・高齢者対策は

問　安心して子どもを育てられる環境整備として、子育て支援に関する市独自の取り組みについて伺う。

答　南相馬市復興総合計画後期基本計画において子育て世代に選ばれるまちを重点戦略に位置づけ、幼稚園・保育園等の無料化、子ども医療費の無料化等、子育てしやすい環境の整備に取り組んでいる。市独自の取り組みということでは、待機児童の解消に向けた保育士等の修学資金貸し付け制度、子育て一般については、昨年から実施している在宅保育支援金の支給、さらには今後予定している幼稚園等の給食費の助成などの支援策を含めしっかりと対応していく。

良好な子育て環境を

問　健康寿命を延ばす取り組みとして、高齢者の健康づくりと生きがいの創出について現在の市の取り組みについて伺う。

答　知事からは健康寿命を延ばす取り組みとして3つ、食、運動、社会参加という話があった。食については、バランスのとれた低栄養を予防する食生活の改善が大切である。運動については市全体の健康づくりの一環でもあり、年齢問わず運動、スポーツに親しむ機会をつくりたい。社会参加については週一サロン、老人クラブ、シルバー人材センターの活動支援などを実施しており、高齢者が活躍できるまちの実現と健康寿命の延伸に努めて行く考えである。

その他の質問

❶財政健全化について

❷職員のモチベーション向上について

❸交流人口の拡大について

質問を終えて

人口増加には、移住促進、出生数増加、健康寿命延伸をバランスよく実施することが重要。

岡﨑 義典 議員

空き地空き家対策は急務

問　空き家のデータベース構築は。

答　現地調査を実施し、保有する基礎データの精度を高めながら構築したい。

問　空家等対策協議会の実施状況は。

答　平成29年度は協議会の設置と空家等対策計画策定のため3回。平成30年度は実態調査実施のため未開催。本年度は新任委員の委嘱や実態調査の報告を予定している。

問　空き地、空き家、営農休止の農地の管理に対する現状認識は。

答　避難や高齢化など、自ら管理できない実情に応えるため、市内事業者などを活用した支援や代行処理などの体制整備を検討したい。農地については、復興組合が行う除草等により管理している。

問　一元管理の必要があるのではないか。

答　所有者や地域の方からすると当然のことと考える。空き家と空き地は窓口を建築住宅課に。農地は農業委員会、農政課と協議をしながら進めたい。

問　計画ではシルバー人材センターと「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」を結ぶとしているが。

答　シルバー人材センターを主にしながら、地域の業者についても検討したい。

問　老朽化した空き家の解体撤去費用の一部を助成するなどの促進策が必要では。

答　先進事例の実施状況を調査し必要性を検討したい。

荒廃の進む空き家

その他の質問

❶小高診療所の外来診療の充実について

❷営農再開の状況調査及び指導方法は

❸2021年度以降の営農再開への支援は

質問を終えて

空家等対策計画の策定が平成30年2月。調査から管理、対策に至るまですべてが遅い。

中川 庄一 議員

100年のまちづくり借地解消へ

公共施設の借地解消について

問　小高区に22ヶ所、4万4千平方メートル、鹿島区に25ヶ所、3万4千平方メートル、原町区32ヶ所、34万7千平方メートル借地があるが年間の賃貸料を伺う。

答　3区合計の賃貸料は、年間5千4百30万5千円ほどである。

問　小高生涯学習センターの契約期間が平成7年から令和37年までの契約だが、耐用年数も考えての契約なのか伺う。

答　長期の契約を小高町当時に行っており、50年の契約をしている。今後、長期契約期間が残っているものについては、所有者と協議しながら、買い取りも含め適正に管理していく。

問　小高病院は今年度中に、解体の予定になっているが、借地解消も含め、土地利用について伺う。

答　震災と原発事故により途中で、解体という想定外の事態となった。全体の半分が借地であり、用地が入り組んでいる。効率的、納得できる方法で検討していく。

問　原町第三小学校の借地解消について伺う。

答　地権者とは解消に向け協議を進めていく。学校の適正化も進めているので、学校のあり方も含め、検討していく。

今でも通行止めになっている全国植樹祭会場

高齢者ドライバーの安全対策

問　急発進防止装置に対しての補助金について伺う。

答　運転免許証を返納できない環境もあり、速やかに支援制度の構築を図っていく。

その他の質問

❶防集移転元地の利活用について

❷公園トイレの整備について

❸全国植樹祭跡地利用について

質問を終えて

2020オリ・パラも開催されるが、本市では、ワールドロボットサミットが開催される。